

大河石狩川に並ぶ、 日本一の直線国道

～日本一の直線が紡ぐ地域の繋がりと次世代への 思い～

特定非営利活動法人

日本一直線道まちづくり研究会

北海道 奈井江町



喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人
日本一直線道まちづくり
研究会 理事長
工藤 克彦

コメント

このたびの国土交通大臣表彰に際しまして、格別のご愛顧を賜り厚くお礼を申し上げます。

今回の栄誉を授けられましたのも、活動に賛同していただいた多くの皆様方のご支援とご協力のおかげと存じ、深く感謝しております。子供達が自慢できる郷土を目指し、続けてきた活動を評価していただき、私どもの大きな自信になりました。

今後も、地域の皆様と一緒に次世代に繋ぐ活動を盛り上げて行きたいと考えております。

活動の内容

- 国道のVSP活動としての歩道の美化清掃
- クリーンファームとして、基盤産業である水田へハーブの植栽や、田植え稲刈り体験などを実施
- 「道の駅ハウスヤルビ奈井江」の施設を利用した習字教室の開催
- 「道の駅ハウスヤルビ奈井江」にて、夏休みラジオ体操、自転車交通安全教室の開催
- 町施設を利用し、幅広い年齢層に向けたスポーツ教室の開催

活動の経歴

平成 15 年 日本一直線道まちづくり研究会設立
以後、多種多様な活動を継続中

3 活動の成果や波及効果等

一般国道12号の美化清掃活動を地域の高齢者がサポーターとなってコミュニティをつくりながら17年間継続しており、高齢者と子供達が一緒に活動することで、世代間交流が図られ、地域への愛着を深める礎となっています。

定期的に習字教室、地域の郷土史研究会及びスポーツ教室を開催することで、ボランティアの高齢者の皆さんにおいても、子供達と交流を持つことにより、高齢者の社会参加による活性化にもつながっています。



国道12号の歩道の
美化清掃活動の様子



用水路へのハーブの
植栽の様子



習字教室の様子



夏休みラジオ体操に
集まる子供たち



自転車交通安全教室
の様子



スポーツ教室開催の様子

●所在地

北海道空知郡奈井江町字奈井江748番地118

●活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人
日本一直線道まちづくり研究会
(0125-65-5722)

●対象となる社会資本

一般国道12号・一級河川石狩川
※管理者:国土交通省 北海道開発局
札幌開発建設部

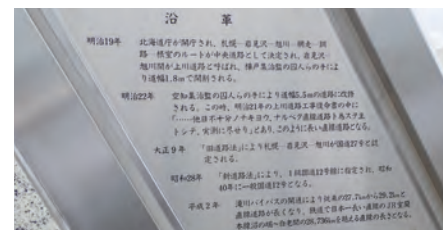


1 社会資本の概要

一般国道12号は、北海道の中核都市である札幌市を起点に道北の中核都市である旭川市に至る約145kmの主要幹線道路であり、道央圏と道北圏を連絡する重要な路線です。

明治19年に「成可(なるべく)直線路に為すを主とし」と命じられ、意図した直線路として誕生しており、平成2年の改修により、滝川市、砂川市、奈井江町、美瑛市の3市1町に跨がる日本一長い直線区間(29.2km)を有する国道となりました。

また、国道と平行して、わが国屈指の大河である石狩川が流れています。



日本一の直線道路となるまでの沿革が、
起点と終点のモニュメントにあります



日本一の直線道路

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

生活している町の過疎化が進み元気がなくなっていく様を見て、日本一長い直線道路沿線の3市1町(滝川市、砂川市、奈井江町、美瑛市)の住民が町に活気を取り戻し、「子供達が大人になり全国に出て行ったとしても、胸を張って故郷を自慢できるようにしたい。」との思いから、奈井江町の町花を国道に植栽したのがはじまりです。

住んでいる地域の特徴、資源を再発見し、訪れる人々と交流しながらまちづくりに関わる事業を企画し、豊かな恵みを共感しあえる地域社会の形成、発展につなげることを理念に掲げ、直線道路の中間地点にある「道の駅ハウスヤルビ奈井江」を拠点として活動を続けています。



直線道路の中間地点にある
「道の駅ハウスヤルビ奈井江」



町の花「ヘメロカリス」の植栽の様子



道の駅施設内に再現した
大正時代の古民家